

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
国語	現代の国語	2	1	6	6	1	1
教科の目標		○社会生活に必要な国語について理解し適切に使うことができる。 ○他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ○言葉の持つ価値への認識を深め、言語文化を担う自覚と、国語を尊重する態度を養う。					
科目の目標		○実生活に役立つ国語の知識や技能を身に付けることができる。 ○論理的に考える力や共感する力、想像する力を伸ばし、他者との関わりに活かすことができる。 ○言葉の価値に気付き、言葉を通して社会と関わる姿勢を養う。					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 教科書の作品を読んで興味が沸いたことや、言葉に関連する内容について調べてみてください。調べ学習だけにとどまらず、調べた上で分かったことや自分がどのように感じたかを明記してください。また、自分の言葉で表現することを意識して取り組んでください。参考となる資料をそのまま使用するのではなく、自分なりにまとめ直したり、どのように感じたかを自分の語彙と言い回して表現してみてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容に関連するワークに取り組んでください。漢字のワーク等は漢字の練習だけにとどまらず、その漢字を使って文章を作るなどできるだけ実用的な内容に取り組めるとより良いでしょう。 ワークの中の自由記述や「○○の言葉を使って例文を作りなさい。」といった問題では自分で文章を作ることにチャレンジしてください。</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに則って取り組んでください。どうしてその内容に取り組もうと思ったかを明記してください。また、作品だけの添付だけではなく、制作過程やこだわったポイントなどが記載されているとより良いです。 作品を作ってどう感じたか、このマイプロに取り組んだことでどのような思いを抱いたかを書いてください。</p>					
レポート内容		全6回 ①「こそそめスープ」村田沙耶香 ②「水の東西」山崎正和 ③「無彩の色」港千尋 ④「鍋洗いの日々」村上信夫 ⑤「りんごのほっぺ」渡辺美佐子 ⑥「真の自立とは」鷺田清一					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
国語	言語文化	2	1	6	6	1	1
教科の目標		①社会生活に必要な国語について理解し適切に使うことができる。 ②他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ③言葉の持つ価値への認識を深め、言語文化を担う自覚と、国語を尊重する態度を養う。					
科目の目標		○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ○論理的に考えたり、豊かに想像したりして、自分の思いを他者と伝え合うことができる。 ○日本の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して社会と関わろうとする態度を養う。					
教員から マイプロ作成に 向けて アドバイス		<p>1年間で取り組むに相応しい分量に取り組んでください。</p> <p>【調べ学習(テーマ学習)について】 教科書で扱っている作品の作者や同じ作者の別作品などについて調べてまとめたり、言語文化(方言、母国語の変遷、表記の移り変わり等)について調べたりすると良いですね。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークが推奨です。その他のワークブックやプリント集などを選択する場合も、教科書と共に届くワークの分量(ページ数)を基本とします。また、単元や分野を限定したワーク(例:文法事項のワーク等内容が限局されたようなワーク)や、下学年適用のワーク(例:学習課題が中学校段階の物や、小学校段階の物)など個々の学習段階に応じた内容のワークを選んでいただいても構いません。</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに則って取り組んでください。 教科書掲載の物語等を読んだ後に感想文や感想画、ポスターやパンフレットで表したり、その製作過程を動画でまとめたり、自作の小説や詩を作成したりしても良いですね。</p>					
レポート内容		<p>全6回</p> <p>①【現代文編】隨筆「さくらさくらさくら」、小説「とんかつ」、短歌・俳句</p> <p>②【古文編】「絵仏師良秀」「奥山に、猫またといふものありて」「うつくしきもの」</p> <p>③【漢文編】訓読の基本、故事成語、漢詩</p> <p>④【現代文編】小説「羅生門」、小説「デューク」</p> <p>⑤【古文編】伊勢物語「筒井筒」、平家物語「木曾の期」</p> <p>⑥【漢文編】論語、史記</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
国語	論理国語	4	2~	12	12	1	1
教科の目標		①社会生活に必要な国語について理解し適切に使うことができる。 ②他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ③言葉の持つ価値への認識を深め、言語文化を担う自覚と、国語を尊重する態度を養う。					
科目の目標		○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ○論理的に考えたり、豊かに想像したりして、自分の思いを他者と伝え合うことができる。 ○日本の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して社会と関わろうとする態度を養う。					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>1年間で取り組むに相応しい分量に取り組んでください。</p> <p>【調べ学習(テーマ学習)について】 教科書で扱っている作品の作者や同じ作者の別作品などについて、調べてまとめるといいですね。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークが推奨です。その他のワークブックやプリント集などを選択する場合も、教科書と共に届くワークの分量(ページ数)を基本とします。 また、単元や分野を限定したワーク(例:文法事項のワーク等 内容が限局されたようなワーク)や、下学年適用のワーク(例:学習課題が中学校段階の物や、小学校段階の物)など個々の学習段階に応じた内容のワークを選んでも構いません。</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに則って取り組んでください。教科書掲載の物語等を読んだ後に感想文や感想画、ポスターやパンフレットで表したり、その製作過程を動画でまとめたり、自作の小説や詩を作成したりしても良いですね。</p>					
レポート内容		全12回 ①「対話とは何か」 ②「少女たちの『ひろしま』」 ③「学ぶことと人間の知恵」 ④「安心について」 ⑤「複数の『わたし』」 ⑥「楽に働くこと、楽しく働くこと」 ⑦「最初のペンギン」 ⑧「物語の外から」 ⑨「鏡としてのアンドロイド」 ⑩「科学的『発見』」 ⑪「もう一つの知性」 ⑫「ホンモノのおカネの作り方」					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間12回のレポート提出とメディア視聴12回の感想記入 ○マイプロの提出 ※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはルーブリックを基に評価します					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
国語	文学国語	2	2~	12	12	1	1
教科の目標		○社会生活に必要な国語について理解し適切に使うことができる。 ○他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ○言葉の持つ価値への認識を深め、言語文化を担う自覚と、国語を尊重する態度を養う。					
科目の目標		○読書に親しみを持ち、言葉を通して人と関わろうとする姿勢を養う。 ○深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中、自分の思いや考えを広く深めていくことができる。 ○日本の言語文化に対する理解を深めることができる。					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 日本の文学作品や作家について調べたり、それに関わる内容について掘り下げてみてください。テーマ設定が難しい場合は、教科書に載っている作品や作家を参考にしてください。また、自分の言葉で表現することを意識して取り組んでください。参考となる資料をそのまま使用するのではなく、自分なりにまとめ直したり、どのように感じたかを自分の語彙と言い回しで表現してみてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容に関連するワークに取り組んでください。漢字のワーク等は漢字の練習だけにとどまらず、その漢字を使って文章を作るなどできるだけ実用的な内容に取り組めるとより良いでしょう。ワーク中の自由記述問題には特に力を入れて取り組んでください。 自由記述がないワークについては、自己採点等を行う際に学習した内容に対して、どこが間違っていたのか後から見返した際に分かりやすいよう工夫できると良いでしょう。</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに則って取り組んでください。どうしてその内容に取り組もうと思ったかを具体的に書いてください。 また、作品だけの添付だけではなく、制作過程やこだわったポイントなどが記載されているとより良いです。作品を作った感じたか、このマイプロに取り組んだことでどのような思いを抱いたかを書いてください。</p>					
レポート内容		全12回 ①『雨月物語』木内昇 ②『山月記』前編 中島敦 ③『山月記』後編 中島敦 ④『言葉を生きる』若松英輔 ⑤『永訣の朝』宮澤賢治 ⑥『こころ』前編 夏目漱石 ⑦『こころ』後編 夏目漱石 ⑧『文学のふるさと』坂口安吾 ⑨『鞆』安部公房 ⑩『小諸なる古城のほとり』島崎藤村 「金剛の露」俳句抄 ⑪『空っぽの瓶』多和田葉子 訳 松永美穂 ⑫『葉桜と魔笛』太宰治					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間12回のレポート提出とメディア視聴12回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
地理歴史	地理総合	2	1~	6	6	1	1
教科の目標		○社会の見方・考え方を役立てながら、諸問題の追究や解決に向けた活動を通して、グローバル化する国際社会へ広い関心を持つ。 ○主体的に民主的な国家と社会をつくる者に必要な資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		○地球規模の自然事象、社会・経済システムを理解する。 ○地域、国家的及び国際的な課題解決を考える。 ○地図や地理情報システムを扱い調査や考察を行えるようになる。					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 日本や世界に目を向け、テーマを設定してみましょう。地域や環境によって生活や 文化は異なります。同じテーマでも、複数の地域を比べることでより理解を深めることができます。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークを推奨します。 市販のワークを選ぶときは、必ず最後まで内容を見てから決めましょう。 短答式・選択式問題だけではなく記述式問題にも取り組みましょう。 自己採点を行い解きなおしもしましょう。</p> <p>【作品について】 作成した経緯や解説をつけましょう。自分の言葉で説明することが大切です。 その作品から学んだことや考えたこともまとめましょう。</p>					
レポート内容		全6回 ① 地理や地理情報システムで捉える現代世界 ② 国際理解と国際協力(人々の生活文化と多様な地球的環境)前半 ③ 国際理解と国際協力(人々の生活文化と多様な地球的環境)後半 ④ 国際理解と国際協力(様々な地球的課題と国際協力)前半 ⑤ 国際理解と国際協力(様々な地球的課題と国際協力)後半 ⑥ 持続可能な地域づくりと私たち					
評価の方法		○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 ※上記要件をすべて満たす必要があります。 ※マイプロはループリックを基に評価します					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
地理歴史	地理探究	3	1~	9	9	1	1
教科の目標		○社会の見方・考え方を役立てながら、諸問題の追究や解決に向けた活動を通して、グローバル化する国際社会へ広い関心を持つ。 ○主体的に民主的な国家と社会をつくる者に必要な資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		○地球規模の自然事象、社会・経済システムを理解する。 ○地域、国家的及び国際的な課題解決を考える。 ○地図や地理情報システムを扱い調査や考察を行えるようになる。					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】 日本や世界に目を向け、テーマを設定してみましょう。 地域や環境によって生活や文化は異なります。同じテーマでも、複数の地域を比べることでより理解を深めることができます。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークを推奨します。 市販のワークを選ぶときは、必ず最後まで内容を見てから決めましょう。 短答式・選択式問題だけではなく記述式問題にも取り組みましょう。 自己採点を行い、解きなおしもしましょう。 ※注意事項※ [データ化できない市販ワークブック または 教科書準拠のワークブックの場合] 科目名・学籍番号・氏名・拠点名を明記した表紙の画像を必ずアップロード し、原本は送付してください。(原本を送付しても、表紙画像がないと採点されません)</p> <p>【作品について】 作成した経緯や解説をつけましょう。自分の言葉で説明することが大切です。その作品から学んだことや考えたこともまとめましょう。</p>					
レポート内容		全9回 ① 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境（前半） ② 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境（後半） ③ 第2章 産業と資源（前半） ④ 第2章 産業と資源（後半） ⑤ 第3章 交通・通信、貿易、観光 ⑥ 第4章 人口、村落・都市 ⑦ 第5章 生活文化、民族・宗教 ⑧ 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域（前半） ⑨ 第2章 現代世界の諸地域（後半） 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間9回のレポート提出とメディア視聴9回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
地理歴史	歴史総合	2	1~	6	6	1	1
教科の目標		○社会の見方・考え方を役立てながら、諸問題の追究や解決に向けた活動を通して、グローバル化する国際社会へ広い関心を持つ。 ○主体的に民主的な国家と社会をつくる者に必要な資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		現代的な諸課題につながる近現代の日本と世界の歴史を学びながら、歴史的なものの見方、考え方を身につける					
教員から マイプロ作成に 向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 近現代史の中で興味を持った単語や事柄等を見つけ、テーマを設定してみましょう。時代背景や自分の考えを交えると良いです。調べた内容に対して自分で考える、自分の意見を持つことが重要です。 歴史の「流れ」を意識して、複数の文献を使用して調べ学習をしてみましょう。 ※取り組む前に確認をしたいこと テーマ設定段階 ※例 テーマ「産業革命の場合」 世界史：イギリスの産業革命と日本史：日本での産業革命 世界史と日本史の両観点から調べ学習を行うとより良いでしょう。</p> <p>○ 近現代史以外をテーマにしたい場合 歴史総合は近現代史が中心ですが、学習の入口として、興味のある時代から始めても構いません。 そのうえで、学びを深めるために、近現代史とのつながりについて調べ学習を行いましょう。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書の付属ワークを推奨します。市販のワークを選ぶ場合には、歴史総合は近現代史の広い範囲になりますので自分が興味をもてる時代に注目してみても良いですね。 科目の目標につながるような内容に取り組めると良いでしょう。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに則って取り組むようにしてください。 また、どのような経緯で作品を作成したのかの解説をつけましょう。 自分の言葉で説明することが大切です。その作品から学んだことや考えたこともまとめてみましょう。</p>					
レポート内容		全6回 ①結び付く世界と日本の開国について理解する ②国民国家と明治維新について理解する ③第一次世界大戦と大衆社会について理解する ④経済危機と第二次世界大戦について理解する ⑤冷戦と世界経済について理解する ⑥世界秩序の変容と日本について理解する					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
地理歴史	日本史探究	3	2~	9	9	1	1
教科の目標		○社会の見方・考え方を役立てながら、諸問題の追究や解決に向けた活動を通して、グローバル化する国際社会へ広い関心を持つ。 ○主体的に民主的な国家と社会をつくる者に必要な資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		「我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関する概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養うこと」					
教員から マイプロ作成に 向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 日本の原始・古代から現代までの中で興味を持った単語や事柄等を見つけ、テーマを設定してみましょう。時代背景や自分の考えを交えると良いです。 調べた内容に対して自分で考える、自分の意見を持つことが重要です。歴史の「流れ」を意識して、複数の文献を使用して調べ学習をしてみましょう。 ※取り組む前に確認をしたいこと テーマ設定段階 ※例 テーマ「日本にある世界遺産について」 建物や場所だけではなく 日本史の観点から調べ学習を行うと良いでしょう。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書の付属ワークを推奨します。市販のワークを選ぶ場合には、科目の目標につながるような内容に取り組めると良いでしょう。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに則って取り組むようにしてください。 また、どのような経緯で作品を作成したのかの解説をつけましょう。 自分の言葉で説明することが大切です。その作品から学んだことや考えたこともまとめてみましょう。</p>					
レポート内容		全9回 ①縄文、弥生、古墳時代の時代背景や特色について理解する ②飛鳥、奈良時代の時代背景や特色について理解する ③平安時代の時代背景や特色について理解する ④鎌倉時代の時代背景や特色について理解する ⑤室町時代の時代背景や特色について理解する ⑥安土桃山時代の時代背景や特色について理解する ⑦江戸時代の時代背景や特色について理解する ⑧明治、大正時代の時代背景や特色について理解する ⑨昭和時代の時代背景や特色について理解する					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間9回のレポート提出とメディア視聴9回の感想記入 ○マイプロの提出 ※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
地理歴史	世界史探究	3	2~	9	9	1	1
教科の目標		○社会の見方・考え方を役立てながら、諸問題の追究や解決に向けた活動を通して、グローバル化する国際社会へ広い関心を持つ。 ○主体的に民主的な国家と社会をつくる者に必要な資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を、適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようする。					
先生から マイプロ作成に 向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 世界史の原始・古代から現代までの中で興味を持った単語や事柄等を見つけ、テーマを設定してみましょう。 時代背景や自分の考えを交えると良いです。調べた内容に対して自分で考える、自分の意見を持つということが重要です。 歴史の「流れ」を意識して、複数の文献を使用して調べ学習をしてみましょう。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書の付属ワークを推奨します。市販のワークを選ぶ場合には、科目の目標につながるような内容に取り組めると良いでしょう。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに則って取り組むようにしてください。 どのような経緯で作品を作成したのかの解説をつけましょう。 自分の言葉で説明することが大切です。その作品から学んだことや考えたこともまとめてみましょう。</p>					
レポート内容		全9回 ①古代文明における農業と気候、古代オリエントの統一について理解する ②南アジアにおける国家形成、古代帝国の誕生について理解する ③イスラーム世界の発展と中世ヨーロッパについて理解する ④中華世界の変容とモンゴル帝国、インド洋海域世界の発展と東南アジアについて理解する ⑤ユーラシア諸帝国の繁栄、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について理解する ⑥一体化していく世界の国民国家と近代社会の形成について理解する ⑦世界市場の形成とアジア諸国の変容について理解する ⑧第一次世界大戦の展開と諸地域の変容～第二次世界大戦について理解する ⑨グローバル化と地球課題について理解する					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間9回のレポート提出とメディア視聴9回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
公民	公共	2	1~	6	6	1	1
教科の目標		社会的な見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
科目の目標		<p>○現代の諸課題について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>○人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自己を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚する。</p>					
教員から マイプロ作成に 向けて アドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】 「公共」という言葉から考えるというより、今皆さんの身近に起きている問題や課題という視点でテーマ設定していきましょう。 ニュースなどでよく聞く日本や世界が抱える問題について触れても良いでしょう。 調べた内容に対して自分で考える、自分の意見を持つということが重要です。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書の付属ワークを推奨します。 市販のワークを選ぶときは、内容を見てから決めましょう。 (科目の目標につながるようなワーク内容が良いですね) ※注意事項※ [データ化できない市販ワークブック または 教科書準拠のワークブックの場合] 科目名・学籍番・氏名・拠点名を明記した表紙の画像を必ずアップロードし、原本を送付してください。 (原本を送付しても、表紙画像がないと採点されません)</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに従って取り組んでください。現代の社会問題に関係するような作品をつくっても良いですね。その作品についてどういった思いが込められているか解説を加えてください。また、実際にボランティアをした体験をまとめたりしてもよいでしょう。</p>					
レポート内容		全6回 ① <u>第1部 「公共」のとびら</u> 第1章 公共的な空間をつくる私たち－社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方－共に生きるための倫理 第3章 公共的な空間における人間としての在り方生き方－私たちの民主的な社会 ② <u>第2部 自立した主体として社会に参画する私たち</u> 第1章 民主政治と私たち ③ 第2章 法の働きと私たち ④ 第3章 経済社会で生きる私たち ⑤ 第3章 経済社会で生きる私たち 第4章 私たちの職業生活 ⑥ 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験	
公民	倫理	2	2~	6	6	1	1	
教科の目標		社会的な見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての 資質・能力を育成する。						
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○善、正義、義務などの様々な倫理観について理解する。 ○個性、感情、認知、発達などに着目して様々な人間の心のあり方を理解する。 ○幸福、愛、徳など様々な人生観について理解する。 						
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 教科書を見ながら、自分の興味のある事柄について調べてみましょう。 様々な面から「自分とは？」を考えてみるのもおすすめです。 倫理は、日常生活において馴染みのない科目だと思います。 疑問に思ったことについて積極的に調べてみてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書の付属のワークを推奨します。 市販のワークを選ぶときは、最後まで内容を見てからワークを決めましょう。</p> <p>【作品について】 これから的人生設計図を作つてみたり、自分のこれからについてイメージした作品を制作するのも良いでしょう。</p> <p>【体験・実習・実技・実験】 校内外の活動の記録やグループワークの記録など体験したことをまとめてみましょう。 動機や取り組む前の状態、取り組みの内容や結果も記入してみましょう。 哲学、思考実験なども良いかもしれません。</p>						
レポート内容		全6回 ①人間の心のあり方 ②さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ ③さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ④国際社会に生きる日本人としての自覚① ⑤国際社会に生きる日本人としての自覚② ⑥現代の諸課題と倫理						
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出 ○メディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>						

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
公民	政治・経済	2	2~	6	6	1	1
教科の目標		社会的な見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○民主主義に関する理解を深める。 ○現代における政治、経済、国際関係などについて自主的に調べる。 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 自分の興味のある事柄について調べてみましょう。 裁判、政治、経済、国際情勢など「政治」に関することでも「経済」に関することでもよいです。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書付属のワークを推奨します。 市販のワークを選ぶときは、最後まで内容を見てから決めましょう。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに従って取り組むようにしてください。 また、どのような経緯で作品を作成したのかの解説をつけましょう。 自分の言葉で説明することが大切です。 その作品から学んだことや考えたこともまとめてみましょう。</p> <p>【体験・実習・実技・実験】 校内外の活動の記録やグループワークの記録など、体験したことをまとめてみましょう。 裁判や政治、経済活動についてなどと関連しているとなお良いです。 動機や取り組む前の状態、取り組みの内容や結果も記入してみましょう。</p>					
レポート内容		全6回 ① 民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理 ② 日本の政治機構 現代政治の特質と課題 ③ 現代の資本主義経済 現代経済のしくみ ④ 日本経済の発展と現状 福祉社会と日本経済の課題 ⑤ 現代日本の諸課題 現代の国際政治 ⑥ 現代の国際経済 国際社会の諸課題					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア授業6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
数学	数学Ⅱ	4	2	12	12	1	1
教科の目標		数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養い、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		<p>○基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>○数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察したり、標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したり、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察したり、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>○数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 マイプロの調べ学習のルールに則って取り組むようにしてください。数学にまつわる事柄(数学者や定理など)についてテーマを設定し、それに関連する公式や数式についても必ず掘り下げ、まとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容(方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数と対数関数、微分と積分)を含むワークに取り組んでください。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに則って取り組むようにしてください。どのような数学的要素(定理や式)を用いたのかを必ず記述してください。</p> <p>【体験・観察・実験記録】 活動の内容がわかるような様子（写真など）があるとよいですね。数学的要素（図形や式、グラフなど）を必ず入れるようにしてください。</p>					
レポート内容		<p>全 12 回</p> <p>①②③ 方程式・式と証明 ④⑤ 図形と方程式 ⑥⑦ 三角関数 ⑧⑨ 指数関数と対数関数 ⑩⑪⑫ 微分と積分</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間 12 回のレポート提出とメディア視聴 12 回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
数学	数学 A	2	1～	6	6	1	1
教科の目標		数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養い、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		○数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解する ○数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深める					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習について】 テーマは、図形の性質、さまざまな事象の確率、数学と人間の活動などを設定してみると良いでしょう。 日常生活にどのように数学的知識・技能が活用されているか、その利便さについて考察できると良いですね。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容（図形の性質、場合の数と確率、数学と人間の活動）を含むワークに取り組んでください。</p> <p>【作品について】 なぜそのテーマを設定し作品を制作しようと思ったかとどのような数学的知識を活用したのかを記述してください。</p> <p>【体験・観察・実験記録】 活動の内容がわかるような様子（写真など）があるとよいですね。 数学的要素（図形や式、グラフなど）を必ず入れるようにしてください。</p>					
レポート内容		全6回 ①場合の数と確率1 ②場合の数と確率2 ③図形の性質1 ④図形の性質2 ⑤数学と人間の活動1 ⑥数学と人間の活動2					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
数学	数学 B	2	2	6	6	1	1
教科の目標		数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養い、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		<p>○数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>○離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>○数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 マイプロの調べ学習のルールに則って取り組むようにしてください。数学にまつわる事柄(数学者や定理など)についてテーマを設定し、それに関連する公式や式についても必ず掘り下げまとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容(数列、統計的な推測、数学と社会生活)を含むワークに取り組んでください。</p> <p>【作品について】 マイプロの作品制作のルールに則って取り組むようにしてください。 どのような数学的要素(定理や式)を用いたのかを必ず記述してください。</p> <p>【体験・観察・実験記録】 活動の内容がわかるような様子（写真など）があるとよいですね。 数学的要素（図形や式、グラフなど）を必ず入れるようにしてください。</p>					
レポート内容		<p>全6回</p> <p>①②③ 数列 ④⑤ 統計的な推測 ⑥ 数学と社会生活</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
理科	科学と人間生活	2	1～	6	6	2	1
教科の目標		日常生活や社会との関連を図りながら自然現象への関心を高め、基礎的な知識の習得と科学的な見方や考え方を養う					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○科学技術と人間生活の関わりについて学び、科学に興味や関心を持つようになる ○日常生活や社会と関連づけて自然に対する理解や科学技術の発展やその役割を理解する。 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 科学と人間生活の内容にまつわるテーマを設定してください。 まとめる事柄については、テーマにまつわる科学技術と人間生活(生命の科学、物質の科学、光や熱の科学、宇宙や地球の科学)について掘り下げ、身近な人間生活と科学技術がどのように関連しているのか科学的な根拠をもとに考察しながらまとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは高校科学の内容を扱ったワークに取り組み、学習内容の習得を目指してください。</p> <p>【作品について】 どのような高校科学的要素(生命の科学、物質の科学、光や熱の科学、宇宙や地球の科学)を用いたのかと科学的な視点からどのように考察したかを必ず記述してください。</p> <p>【実験・観察について】 科目に関連した実験等の体験で学んだことを記載してみてください。 1 動機や仮説 2 実験・観察 3 結果・考察 4 まとめ・感想 の手順で行ってみましょう。</p>					
レポート内容		全6回 ①生物と光・微生物とその応用について理解する ②プラスチックや金属の種類、用途、性質を学び資源の再利用を理解する ③身近な衣料材料の性質、食品中の主な成分について理解する ④光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する ⑤熱の性質、エネルギーの変換と保存、及び有効利用について理解する ⑥太陽や月と人間との関わり、太陽系における地球について理解する					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
理科	生物基礎	2	1～	6	6	2	1
教科の目標		日常生活や社会との関連を図りながら自然現象への関心を高め、基礎的な知識の習得と科学的な見方や考え方を養う					
科目の目標		○生物や生物現象についての学習を通して、基本的な知識を身に付ける ○生物基礎の学習を通して、科学的な見方や考え方を養う					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 生物基礎の内容にまつわるテーマを設定してください。 まとめる事柄については、テーマにまつわる生物現象や植生、生態系のしくみについて掘り下げ、身近なからだや自然とどのように関連しているのか科学的な根拠をもとに考察しながらまとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは高校生物の内容(光合成と呼吸、DNAの構造と機能、恒常性の維持、免疫、植生、生態系)を扱ったワークに取り組み、学習内容の習得を目指してください。</p> <p>【作品等について】 どのような高校生物学的要素(光合成、呼吸、DNA、恒常性、免疫、植生、生態系)を用いたのかと生物学的な視点からどのように考察したかを必ず記述してください。</p> <p>【実験・観察について】 科目に関連した実験等の体験で学んだことを記載してみてください。 1 動機や仮説 2 実験・観察 3 結果・考察 4 まとめ・感想 の手順で行って みましょう。</p>					
レポート内容		全6回 ① 生物の多様性と共通点 ② 生物とエネルギー/遺伝情報とDNA ③ 遺伝情報とタンパク質の合成/ヒトの体を調節するしくみ ④ ヒトの体を調整するしくみ/免疫のしくみ ⑤ 免疫のはたらき/植生と遷移 ⑥ 生態系と生物の多様性					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
保健体育	保健	1/1	1・2学年	3/3	3/3	1/1	1/1
教科の目標		運動や健康に関する課題を発見し、解決に向け学習し、生涯明るく豊かな生活が送れるようになる。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○個人や社会生活における健康・安全について理解し、知識・技能を身に着ける。 ○健康について自他や社会の課題を発見し、合理的・健康的な解決に向け、思考判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 ○生涯を通じて自他の健康の保持増進や環境づくりを目指し、明るく豊かな活力ある生活を送れるようにする。 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【ワークブック】 教科書準拠ワーク(現代高等保健体育)1冊分に取り組んでください。 ※他のワークに取り組む際は、上記下線部と同量になるように選定しましょう。 ※すべての内容(ワーク1冊分程度)に取り組み、丸つけと解き直しを丁寧に行いましょう。自身で考えたり、調べたりして解答したことが分かるように、 回答内容以外にも自身の考え方や補足を余白に記載しましょう。</p> <p>【調べ学習(テーマ学習)について】 調べ学習のルールに則って取り組み、科目特性(教科書参考)に関するテーマで作成しましょう。様々なデータを活用しながら、主観的な意見や客観的な意見を記載し、調べた内容から学んだことや身についた知識についてまとめましょう。 ※テーマ設定の際には、保健の教科書を参考にして、「保健」と関連があるテーマで作成をしましょう。</p> <p>【作品制作・技術取得について】 作品制作・技術取得のルールに則って取り組むようにして下さい。健康や国際理解等、保健の科目特性に準じたテーマを取り扱いましょう。どのような経緯で作品制作・技術取得したのか解説や考察したことをまとめてみましょう。</p> <p>【体験・記録について】 保健の科目特性に準じたテーマを基に、動機や目的、記録が出るまでの過程や数値を記載しましょう。また、工夫したことや今後の展望(主観や客観)も忘れずに記載しましょう。</p>					
レポート内容		全6回(1年次:1単位①②③、2年次:1単位④⑤⑥) <ul style="list-style-type: none"> ①②現代社会と健康 ③安全な社会生活 ④生涯を通じる健康 ⑤⑥健康を支える環境づくり 					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○単位認定試験 ○メディア・レポート提出 ○マイプロの提出(※ループリックを基に評価します) ※上記要件を全て満たす必要があります					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
芸術	音楽Ⅰ	2	1~	6	6	1	1
教科の目標		芸術の幅広い活動を通して、創造的な表現を工夫したり、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わりましょう。					
科目の目標		芸術の幅広い活動を通して創造的な表現を工夫したり、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わりましょう。音楽文化についての理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する感性を身につけよう					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>音楽という概念を軸に探求したいテーマを設定してください。</p> <p>【調べ学習（テーマ学習）について】 ①なぜそのテーマ(作曲家、楽曲、その他)にしたのか？を詳しく書きましょう。 ②調べ方（書籍、Web、体験 ex.コンサートに行く等）結果、どのように考えるのか？考察を明確に書くようにしましょう。</p> <p>【ワークブックについて】 Music Navigation を推奨します。また他のワークやプリントを行った場合でも、1年間で取り組むに相応しい分量に取り組んでください。 筆記部分を記入後、自己採点しましょう。</p> <p>【作品について】 ①どのような意図で作成したのか？ ②どのような手法を使ったのか？ ③作成してどう思うのか？ 作品だけではなく、必ずなぜそのテーマを設定し作品を制作しようと思ったのかなど、制作を通して感じたことをはっきりと記述してください。 制作過程は文章や写真などを使って、わかりやすくまとめて提出してください。</p> <p>【体験記録・実技記録・実習記録・観察実験記録】 日時、内容に加え作品等の音楽音源や写真も添付してください。 体験実技の過程や工夫した点など感想も忘れずに記入してください。</p>					
レポート内容		全6回 ① Voice Review of Basic ② ポピュラー音楽 著作権 楽器 ③ ギターの弾き方 コード 総合芸術における音楽 ④ 西洋音楽 ⑤ 日本音楽 アジアの音楽 ⑥ 楽典					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間 6 回のレポート提出とメディア視聴 6 回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
芸術	美術 I	2	1~	6	6	2	1
教科の目標		芸術の幅広い活動を通して、創造的な表現を工夫したり、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わりましょう。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○「美術とは何か」を考える ○造形的な視点で日常を捉える ○これからの美術との関わり方を考える 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】</p> <p>①なぜそのテーマにしたのか？ ②調べた（書籍・Web・実際に美術館に行く）結果をまとめたうえで、 どのように考えるのか？（自分の考え）を明確に書くようにしましょう。</p> <p>【作品制作について】</p> <p>①写真にて添付する場合は、作品途中の写真もいっしょに添付してください。途中経過がみえない完成品のみの場合は減点される場合がありますのでご注意ください。 取り組んだ動機、工夫した点など感想も忘れずに記入してください。</p> <p>【体験記録・実技記録・実習記録・観察実験記録】</p> <p>①日時、内容に加え作品等の写真も添付してください。制作過程や工夫した点など感想も忘れずに記入してください。</p>					
レポート内容		全6回 ①美術とは何か ②絵画 ③日本美術・版画 ④彫刻 ⑤デザイン ⑥映像・メディア表現					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※ 上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※ マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	メディア視聴	レポート	対面授業	試験
芸術	書道Ⅰ	2	1~	6	6	2	1
教科の目標		○芸術の幅広い活動を通して、創造的な表現を工夫し生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かにかかわる。					
科目の目標		○文字を素材とする表現芸術を日常の中でも味わい、発信ができるように書の美のあり方の基本的なことを学習し、在学中のみならず卒業後も永く書道芸術を楽しみ、あるいは発信する基礎を作る					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 「作家」「作品」その他、調べる対象を明確にして、『作品（作家）などを通して書の伝統と文化に意味や価値について考えた』内容としてください。またWEB上の資料にとどまらず、広く書物を読んだり美術館や博物館などで実物を鑑賞したりして学んだことを内容に付与してよりよいものにしてください。その場合、必ず参考資料を明記してください。</p> <p>【ワークブックについて】 丁寧に書き進めることはもちろんですが『何に注意をしながら取り組んだのか』また『何を求め、どのような工夫をしながら取り組んだのか』がわかる詳細な経過レポートを付記してください。 目標設定も明示しながら、到達過程がわかるように書き記してください。 ワークブックを提出するだけでは、書道を学習したことにはなりにくいということを理解して取り組んでください。</p> <p>【作品について】 「書の伝統に基づき、効果的に表現する」ことをどのように意識し取り組んだのかをレポートに書き記してください。」また制作過程がわかる途中経過のものを完成した「清書」とは別に複数枚提出してください。「意図に基づいて構想し表現を工夫」してどのように「書の美」を求め表現しようとしたのかを作品制作に反映させてください。また既存の筆墨硯紙を用いない新しい挑戦も試みてください。</p> <p>【体験記録・実技記録・実習記録・観察実験記録】 日時、内容に加え作品等の写真も添付してください。特に評価につながる工夫した点や目的、感想なども忘れずに記入してください。</p>					
レポート内容		全6回 ①初唐の代表的な楷書作品による楷書の基本事項の理解と鑑賞 ②顏真卿他楷書の代表作品による楷書の応用発展と鑑賞 ③代表的な行書作品による行書の基本事項の理解と鑑賞 ④草書・隸書・篆書の基本事項の理解と鑑賞 ⑤古筆による仮名の学習方法、平仮名、万葉仮名等の理解と鑑賞 ⑥作例より漢字仮名交じりの書の理解と鑑賞、篆刻の基本事項の理解と鑑賞					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの授業参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴6回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します。</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1・2	9	9	3	1
教科の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働きかせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける ○ 英語を通じて、得た情報を的確に理解する為の基礎的能力を身につける ○ 英語を通じて、伝えたい情報を適切に伝えるための基礎的能力を身につける ○ コミュニケーションを支える文法や表現するための語彙を定着させる 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのテーマを選んだ経緯やきっかけ、または目的を書いてください。 ・歌詞や物語の翻訳をした場合は、元の文、自力で訳した文を書いてください。模範の訳と比較してみても良い学習につながります。 ・どのタイプのマイプロにも言えますが、「どのように取り組んだのか（テーマ学習での調べ方、ワーク学習でのペースなど）」が書かれていると望ましいです。 ※元の文をそのまま翻訳サイトで一気に全文訳したもののは認められません。 <p>【ワークブックについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書準拠か科目相当（英検3～準2級程度のレベル）のワークが望ましいです。 ・分量としては教科書準拠ワーク程度の分量が基準となります。 ・ワークは答えを書くのみで終わらず、丸付けを行い、正しい答えを書くようにしましょう。 <p>【作品制作について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作の過程で学んだ英語の知識などを書いてみてください。 ・制作にあたり課題となったこと、その解決策などを書いてください。 <p>※英語での対話や生活の中で使われる英語表現など「コミュニケーション」に関するテーマになるよう心掛けてください。 ※下記のレポート内容にあるような文法・内容の十分な学習ができれば、英語コミュニケーションⅠ相当の学習とみなされます。</p>					
レポート内容		<p>全9回</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Warm-up1～3 アルファベット、教室で使う表現、疑問詞 Pre-Lesson1 be 動詞 Pre-Lesson3 一般動詞 ② Lesson 1 Breakfast around the World 過去形 Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 進行形 ③ Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 助動詞 Lesson 4 A Miracle Mirror to 不定詞 ④ Lesson 5 Learning from the Sea 動名詞 Reading 1 Short Stories in English 知覚動詞 ⑤ Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 受け身 Lesson 7 A Diary of Hope 比較表現 ⑥ Lesson 8 A Door to a New Life 現在完了形 ⑦ Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 名詞を修飾する分詞 ⑧ Lesson 10 Pigs from across the Sea 関係代名詞 ⑨ Reading 2 The Wizard of Oz 仮定法過去 					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○マイプロの提出 ○年間9回のレポート提出とメディア動画9回の感想記入 ※ 上記要件をすべて満たす必要があります ※ マイプロはループリックを基に評価します 					

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
家庭	家庭総合	4	2	12	12	2
教科の目標	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し生活を創造する力を育成する					
科目の目標	<p>○人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的理解を図る。</p> <p>○生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>○様々な人と協同し、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス	<p>いずれも「今後、生活に活用するためには？」という視点をもって作成してみてください。</p> <p>【ワークブックについて】 答えを記入して終わりにせず、ポイントなどをノートなどにまとめるなど知識を生活に役立てるようにまとめると尚良いでしょう。</p> <p>【調べ学習（テーマ学習）について】 マイプロのルールに則って取り組むようにしてください。 家族や周りの人からも感想を書いてもらうと良いでしょう。</p> <p>【作品について】 必ず、制作過程が分かる画像の添付や解説の記載をしましょう。 作品に対して自己評価・家族などからの評価を踏まえ、次なる目標を設定できると良いでしょう。</p> <p>【実習・実験記録について】ホームプロジェクトも含む 実習や実験から学んだことを画像とともに詳細に記載しましょう。</p>					
レポート内容	<p>全12回</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家族・家庭に関する用語や基礎的な法律を知る。 ② 子どもの発達の様子および発達段階を知り、基本的生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ③ 高齢者を支援する方法を具体的に知る。 ④ 社会保障制度の理念と内容を理解する。 ⑤ 雇用形態や収入、支出の仕組みについて知る。 ⑥ キャッシュレス社会のメリット・デメリットを知る。契約や悪質商法などについて学習し、消費者として適切な判断ができるようになる。 ⑦ 食生活の変化や課題について理解し、五大栄養素の種類と働きについて知る。 ⑧ 食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項や基本的な調理技術を知る。 ⑨ 被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示などの意味を知る。 ⑩ 洗剤の働き、漂白剤、被服の管理について知る。 ⑪ 室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。 ⑫ 国内での震災について振り返る。日本の現状や企業の取り組みから、ワークライフバランスの必要性を知る。 					
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間12回のレポート提出とメディア視聴 12回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります。</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します。</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
情報	情報Ⅰ	2	1	6	6	1	1
教科の目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。 ○様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 ○情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 					
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス		<p>【調べ学習について】 テーマは情報社会の問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用等を設定してみるとよいでしょう。まとめる事柄については設定したテーマを必ず掘り下げ、日常生活と情報技術がどのように関連しているのかを考察しながらまとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容（情報社会の問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用等）を含むワークに取り組んでください。</p> <p>【作品について】 プログラミングを中心に教科書の内容と関わりのある題材を設定してください。</p> <p>【体験・観察・実験記録】 活動の内容がわかるような様子（写真）などがあるとよいですね。設定したテーマの動機と体験してみた感想をはっきりと記述してください。</p>					
レポート内容		全6回 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報とメディアの特性、情報モラルについて ② 個人情報の扱いと情報社会について ③ コミュニケーションとデジタル表現について ④ コンピュータの仕組みとプログラムの基本構造について ⑤ プログラムの基本構造とインターネットの仕組みについて ⑥ 情報セキュリティとデータの活用について 					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴 6回の感想提出 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
情報	情報Ⅱ	2	2・3	6	6	1	1
教科の目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働きかせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を修得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようとする。 ○様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。 ○情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 					
教員から マイプロ作成 に向 け て アドバイス		<p>【調べ学習について】 テーマは情報社会の進展と情報技術、メディアの特性とコンテンツ、データおよびデータベースの管理、機械学習と人工知能、情報セキュリティ技術と情報システム等を設定してみるとよいでしょう。</p> <p>【ワークブックについて】 教科書準拠ワークもしくは教科書の内容を含むワークに取り組んでください。</p> <p>【作品について】 プログラミングを中心に教科書の内容と関わりのある題材を設定してください。</p> <p>【体験・活動・観察記録】 活動の内容がわかるような様子（写真や図など）があるとよいですね。設定したテーマの動機と体験してみた感想や気づきを記載してください。</p>					
レポート内容		<p>全6回</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 情報社会の進展と情報技術 ② メディアの特性とコンテンツの発信について ③ データおよびデータベースの管理と操作について ④ データの収集と分類、分析について ⑤ 機械学習と人工知能、情報システムについて ⑥ 情報セキュリティ技術とシステム設計とプログラムについて 					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間6回のレポート提出とメディア視聴 6回の感想提出 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業
学校設定	高校国語入門	2	1	2	2	1
教科の目標		○社会生活に必要な国語について理解し適切に使うことができる。 ○他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 ○言葉の持つ価値への認識を深め、言語文化を担う自覚と、国語を尊重する態度を養う。				
科目の目標		○国語の基礎となる部分を復習する ○身近な言葉について考えるきっかけにする ○高校の「国語」を学ぶための基礎的知識を確認する ○「古文」「漢文」に親しむ態度を身につける				
教員から マイプロ作成 に向 けて アドバイス		<p>【調べ学習（テーマ学習）について】 身近な言葉や文章を題材として調べ学習をすると楽しく学べると思います。情報は書籍やインターネットだけでなく、周りの人へのインタビューや人と話し合った内容をまとめるというのも良いですね。全ての言語活動（皆さんが普段話していること）が国語の基盤になります。自分の使っている言葉について考える機会としてください。</p> <p>【ワークブックについて】 この科目は特定の教材・ワークブックを送ってはいませんが、希望すれば「ラスパ」という指定のワークブックをお送りできます。市販の問題集を選ぶときは、内容は今までの国語学習の復習になるものを選べば良いと思います。どのレベルから復習を始めるかは個人によって違うと思いますが、最終的には中学3年程度まで復習できると高校の「国語」が学びやすくなるでしょう。国語が得意な人は是非、難易度の高いものにチャレンジしてください。</p> <p>【作品について】 マイプロ作品制作のルールに則って取り組んでください。作文や新聞を作ってみるのも良いでしょう。自分が取り組みやすいツールを使って、言葉や文字と関わってみましょう。この「高校国語入門」という科目は、高校国語の基礎を学び、中学までの国語学習の復習をするための科目ですので自分が好きなことと結びつけて国語を学んでいけると良いでしょう。</p>				
レポート内容		全2回 ①日本語の基礎を学ぼう、読解問題に挑戦しよう ②「古文」「漢文」の基礎知識を学ぼう				
評価の方法		○スクーリングの参加 ○年間2回のレポート提出とメディア視聴 2回の感想提出 ○マイプロの提出 ※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します				

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
学校設定	高校数学入門	2	1	2	2	1	1
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養い、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標		○高校数学の学習を見据え、中学までの基礎数学を習得する ○基礎数学の学習を通して、数学的な見方や考え方を身に付ける					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習について】 数学にまつわる事柄（數学者や定理、数学に対する疑問など）についてテーマを設定し、それに関連する公式や数式についても掘り下げ、まとめてください。</p> <p>【ワークブックについて】 中学1年～中学3年生の学習内容の習得を目指してください。指定ワーク「ラスパ」を推奨します。 ※必要に応じて小学生レベルの戻り学習に取り組んでも構いません。</p> <p>【作品について】 なぜそのテーマを設定し作品を制作しようと思ったかとどのような数学的知識を活用したのかを記述してください。</p> <p>【体験・観察・実験記録】 活動の内容がわかるような様子（写真など）があるとよいですね。数学的要素（図形や式、グラフなど）を必ず入れるようにしてください。</p>					
レポート内容		全2回 ①四則演算・割合について ②根号・関数について					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とメディア視聴2回の感想提出 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験	
学校設定	高校英語入門	2	1	2	2	1	1	
教科の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え 合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。						
科目の目標		○ 基本的な学習に取り組み、中学校卒業程度の英語能力の習得を目指す。 ○ 読み、書き、聞き、話すなど英語の4技能の基礎的な力を身につける。						
教員から マイプロ作成 に向 けて アドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○序論に次の3点を書いてください。 ①テーマを選んだ経緯や動機、目的 ②目標 ③取り組み方法 <p>最後に「まとめ」を書いてください。</p> <p>※まとめは、感想にとどまらず、テーマ学習を通して身についた英語の知識、目標に対する考察など客観的な結論をめざしましょう。</p> <p>※ 歌詞や物語などの翻訳をする場合は、次の4点を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①原文(元の文) ②自力で訳した文 ③ネット等で調べた訳、出版物などの模範となる訳 ④翻訳に際して調べた単語や語句 <p>※自分の訳と模範となる訳と対比して、違っていたところの原因究明が英語の学習においては大切です。</p> <p>【ワークブックについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学3年間の学習内容（英検3級合格程度）の習得を目指してください。 ・指定ワーク「ラスパ」を推奨します。 ・ワークは答えを書くのみで終わらず、丸付けを行い、正しい答えを書くようにしましょう。 <p>【作品制作・技術取得について】</p> <p>【体験記録・実技記録・実習記録・観察記録について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次の4点を書くようにしましょう。 ①動機、きっかけ、目標（制作しようとしたもの、技能） ②制作の過程、練習工程、体験・実習記録 <p>※ 体験や実習の場合は学び得た英語の知識、課題、苦労した点、その解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ③制作の場合：完成した作品（画像、動画、録音） ④感想、おわりに 						
レポート内容		全2回 文法（中学前半）、英語入門の学習目的 文法（中学後半）、領域別学習方法						
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とメディア視聴2回の感想提出 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>						

科目目標シート

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
学校設定	課題研究C	2	全学年	2	2	1	1
科目の目標	○調査・研究の発表方法を学び、発信力の向上を図る						
教員から マイプロ作成 に向けて アドバイス	<p>【ワークブックについて】 ※規定ワーク：課題研究A（中学卒業程度）課題研究B（高校1～2年程度）課題研究C（高校2～3年程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能として習得すべきと感じた問題を設定し、1年間で取り組むにふさわしい分量に取り組んでください。 ・問題理解や解答のために調べた事柄（理解や解答の過程となる事柄）などを記述しましょう。 ・既定ワークに沿ったレベルのものを実施するようにしてください。 <p>【調べ学習（テーマ学習）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマ：興味関心に基づいて探求したいテーマを設定してください。 ○序論：次の3点を書いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ①テーマを選んだ経緯や動機、目的 ②目標（どこまで調べるか等） ③進める手順（どのように調べていくか） ○内容：文章、図、式などを用いながら進めてください。 ○まとめ：短い感想で終わらせらず、調べた事柄について考察を掘り下げ、序論とのつながりや客観的な結論をめざしましょう。 <p>【作品制作・技術取得】</p> <p>【体験記録・実技記録・実習記録・観察実験記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマ：興味関心に基づいて探求したいテーマを設定してください。 ○序論： <ul style="list-style-type: none"> ①動機(どのような経緯で作品を制作しよう(体験や実習を行おう)と思ったか ②目標 ○内容：【作品制作】 <ul style="list-style-type: none"> ①完成品 ②制作過程（工程）、練習過程 ③苦労した・工夫した点 <p>【体験・実習記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験、実習の記録（日付、目的、内容、得た学びや苦労など） ○まとめ：制作や実習、体験を通して学んだこと、苦労したこと、またその解決策、課題、新たな提案などを記述してください。 						
レポート内容	全2回 <ul style="list-style-type: none"> ①プレゼンの意味と方法・スライドを使った発表のコツ ②ポスター発表の意義と方法・質疑応答の基本姿勢と方法 						
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とメディア視聴2回の感想提出 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>						

科目目標シート

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	ネット授業	対面授業	試験
学校設定	白山事始	2	1~3	2	2	1	1
教科の目標		我が国および本校所在地の白山市固有の伝統的な文化や技能、伝承について、その実際の姿や今まで引き継がれてきたことの意義を理解し、継承・発展させていくとする意欲と態度を育てる。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○白山から日本海まで広大な大地に位置し、海・山・里の豊かな自然に恵まれている白山市の地理的な特徴について理解する。また、白山市に古くから伝わる白山信仰などの歴史や、「美川刺繡」や「美川仏壇」などの地元を大切に守る文化について理解を深める。 ○白山市についての学習を通して、自分の住んでいる地域の特色を多面的・多角的に考察し表現する力を育成する。 ○白山市の特色について知ることで、自分の住んでいる地域社会に対する興味関心を高める。 					
教員から マイプロ作成に 向けてアドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校所在地である白山市や白山市美川地区に関することを調べる テーマ例: 北前船について、美川仏壇の歴史について 水の文化(白山の水について、水を使った特産品) ○自分の住んでいる地元の祭りや地域の自然に関する事を調べる 【作品について】 以下のものが例として挙げられます。 ○本校所在地である白山市や白山市美川地区へ行き、写真集や画集を作成する。 ○白山市の伝統工芸(牛首紬、美川刺繡、檜細工など)を実際に体験する。 ※実際の作品はデータ化して提出して下さい。 ○自分の住んでいる地元の祭りや地域の自然についての写真集や画集を作成する。 上記を参考にして、「白山市に関する事・白山市と自分の住んでいる地域との違い」などをテーマにして取り組んでください。 					
レポート内容		<p>全2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ①白山市について、白山市美川地区について ②おかえり祭りについて、手取白山ジオパークについて 					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とネット授業2回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	メディア視聴	対面授業	試験
学校設定	日本の技能	2	1～3	2	2	1	1
教科の目標		日本及び本校所在地の白山市特有の伝統的な文化・技能、伝承について、その実際の姿や今日まで引き継がれてきたことの意味を理解し、後継者問題などの課題にも触れつつ、大切に継承・発展させていこうとする態度を育てる。					
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ○古来から伝統的に伝えられてきた「日本の技能」について知り、我が国の文化発展の過程や伝統的なものの価値について理解する。 ○伝統的な技能を実際に学び「ものづくり」をとおして「伝統工芸」への興味関心を持つ。 					
教員からマイプロ作成に向けてアドバイス		<p>【調べ学習・テーマ学習】 日本の伝統工芸に関することをテーマに設定してください。本校がある石川県の伝統工芸についてや、自分が住んでいる地域の伝統工芸について調べてみてもいいでしょう。</p> <p>【調べ学習・プリント】 クラスルーム上にある、プリントを参考にしながら、自分のペースで調べ学習を進めてみましょう。</p> <p>【作品】日本の伝統工芸などの作品を製作しましょう。 ①テーマ設定 なぜその作品を作ったのか ②方法 製作工程 ③感想 実際に活用してみての感想 以上3点を記載したものを添付してください。作品はデジタルファイルで提出しましょう。</p>					
レポート内容		<p>全2回</p> <p>①日本の技能とは・日本の伝統工芸について ②主な伝統工芸（和紙・水引）</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とメディア動画の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	ネット授業	対面授業	試験
学校設定	キャリア探求 A	2	1	2	2	1	1
教科の目標		現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりについての考えを深める。自分の在り方生き方や進路に関する適切な情報を、収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考える力を養う。					
科目の目標		ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。多様な生き方や職業、社会における役割等を知ることで、自分の進路について興味関心と照らし合わせて考えることができる。					
教員から マイプロ作成に向 けてアドバイス		<p>【調べ学習】</p> <p>○学問について</p> <p>進路探求ムックを活用しながら、自分の興味のある学問について、いくつかまとめてみましょう。「学問の概要・その学問でできること・どんな仕事とつながるのか」などの情報を集め、自分なりにまとめてみましょう。</p> <p>○職業について</p> <p>興味のある仕事がいくつか見つかったら、その仕事について調べまとめてみましょう。(例:コックの仕事とは、身近な人がその仕事に就くまで) クラスルーム上にある、「調べ学習用プリント」を活用しながら、調べ学習を進めることもできます。学問や職業について以外も、メディア視聴や進路探求ムックを見て興味を持ったことを、さらに調べてみてもいいですね。</p> <p>【ワークブック・プリント】</p> <p>「進路探求ワーク!」に取り組みましょう。セットで配布される「進路探求 ムック！」を読みながら進めてください。</p>					
レポート内容		<p>全 2 回</p> <p>② ライフプランニング 人生のライフイベント</p> <p>② さまざまな価値観と様々な仕事</p>					
評価の方法		<p>○スクーリングの参加</p> <p>○試験</p> <p>○年間 2 回のレポート提出とメディア授業の感想記入</p> <p>○マイプロの提出</p> <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	ネット授業	対面授業	試験
学校設定	キャリア探求 B	2	2	2	2	1	1
教科の目標		現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりについての考えを深める。自分の在り方生き方や進路に関する適切な情報を、収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考える力を養う。					
科目の目標		自己分析及び自己理解を通して、自らの適性に目を向ける 多様な選択肢の中から、自分の卒業後の進路を積極的に考え、進路や学習を主体的に選択できるようになる。					
教員から マイプロ作成に向 けてアドバイス		<p>【調べ学習】</p> <p>○進路決定について 「自分の進路選択につながること」をテーマにまとめてみましょう。 例:就職・進学するときの必要なことや、自分に向いている方法 ボランティア活動に参加してみて感じたこと。バイト先の面接で気をつけることなど。 自分の進路決定につながるような、体験をまとめてみてもいいでしょう。</p> <p>○職業について 興味のある仕事がいくつか見つかったら、その仕事について調べまとめてみましょう。 例:コックの仕事になるために必要な力や資格、自分の好きな〇〇に関する仕事</p> <p>【ワークブック・プリントについて】</p> <p>「進路探求ワーク2」に取り組みましょう。セットで配布される「進路探求 ムック2」を読みながら進めてください。</p>					
レポート内容		<p>全2回</p> <p>①自分自身について知ろう ②進路決定までの道</p>					
評価の方法		<p>○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とメディア授業の感想記入 ○マイプロの提出</p> <p>※上記要件をすべて満たす必要があります ※マイプロはループリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	ネット授業	対面授業	試験
学校設定	キャリア探求 C	2	3	2	2	1	1
教科の目標		現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりについての考えを深める。自分の在り方、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味、関心と照らして考える力を養う。					
科目の目標		自分を見つめなおし、自分の関心と照らし合わせながら、進学の実現に向けた計画を立てようとする。 志望理由について段階的に考えを深めることで、卒業までに自分がすべきこと考え、理解することができる。					
教員から マイプロ作成に 向けてアドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】</p> <p>キャリア探求 C では「進学」に関連したテーマを設定しましょう。例えば、志望進学先となる可能性のある大学や専門学校のオープンキャンパスに参加してわかったことをまとめてみましょう。他には、進学希望先の自宅からの通学時間・キャンパスの広さ・カリキュラムの特長・取得できる資格と実際の取得状況など、項目ごとに調べてまとめてみてもいいでしょう。</p> <p>【ワークブックについて】</p> <p>基本的に、メディア授業を視聴しながら、ワークブック『志望理由ノート』を使って、志望理由を深めましょう。自分を見つめ直し、進路について書くことが、進路を真剣に考えるきっかけとなります。志望する進学先が未定であっても、現時点での内容を仮に書いてみましょう。</p>					
レポート内容		<p>全 2 回</p> <p>① 進学の動向を知る 志望理由ノートの書き方 (4~17p)</p> <p>② 志望理由ノートの書き方 (22~35p)</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間 2 回のレポート提出とネット授業 2 回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはルーブリックを基に評価します</p>					

科目目標シート

教科	科目	単位数	対象学年	レポート	ネット授業	対面授業	試験
学校設定	キャリア探求 D	2	3	2	2	1	1
教科の目標		現在及び将来の生活や学習と自己実現のつながりについての考えを深める。自分の在り方、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味、関心と照らして考える力を養う。					
科目の目標		ビジネスマナーや社会人に大切なことについて知ることができる。具体的に雇用の特長や形態について知識を深めることができる。日本の雇用の特長や形態を知ることによって、自分にあった卒業後の進路を考えることができる。					
教員から マイプロ作成に向 けてアドバイス		<p>【調べ学習(テーマ学習)について】 キャリア探求 Dでは、「社会の中における自分・就職」に関連したテーマを設定しましょう。 例えば、先輩や友人のアルバイト体験談や自分の経験などから、コミュニケーションの取り方で失敗した話や上手くいった話を聞いてまとめてみたり、ビジネスマナーの中で大切だと感じたことを書きだしてみたりしてみましょう。参考文献を使ってまとめてみましょう。 求人票などを実際見て、よく理解できないところを調べたり、雇用の契約についてのわからない言葉について調べてみたりしてもいいですね。</p> <p>【ワークブックについて】 「企業活動の基礎・雇用、ビジネスとコミュニケーション」について、クラスルームにアップされているワークシートに取り組みましょう。メディア視聴の内容と重なる内容が多いので、メディア視聴用の資料を見ながら進めて下さい。わからないところはインターネットなどで調べてもいいです。実際に文章を書いてみる練習は、進路について考えるきっかけとなります。</p>					
レポート内容		<p>全2回</p> <p>①雇用の意義や形態、日本の雇用の特長、そして雇用にともなう企業の責任について学ぶ。保険のしくみと種類について知る。</p> <p>②コミュニケーションを手段や対象などによって分類し、正確に内容を伝えようとする誠意のある話し方と話す人の立場にたった好意的な聞き方について学ぶ。</p>					
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリングの参加 ○試験 ○年間2回のレポート提出とネット授業2回の感想記入 ○マイプロの提出 <p>※上記要件をすべて満たす必要があります</p> <p>※マイプロはループリックを基に評価します</p>					